

今回の記録不備の原因分析や社外有識者からのご意見を踏まえ検討してきた対策について、以下の観点を取り入れながら着実に実施し、原子力品質保証活動の一層の強化に努めていく。

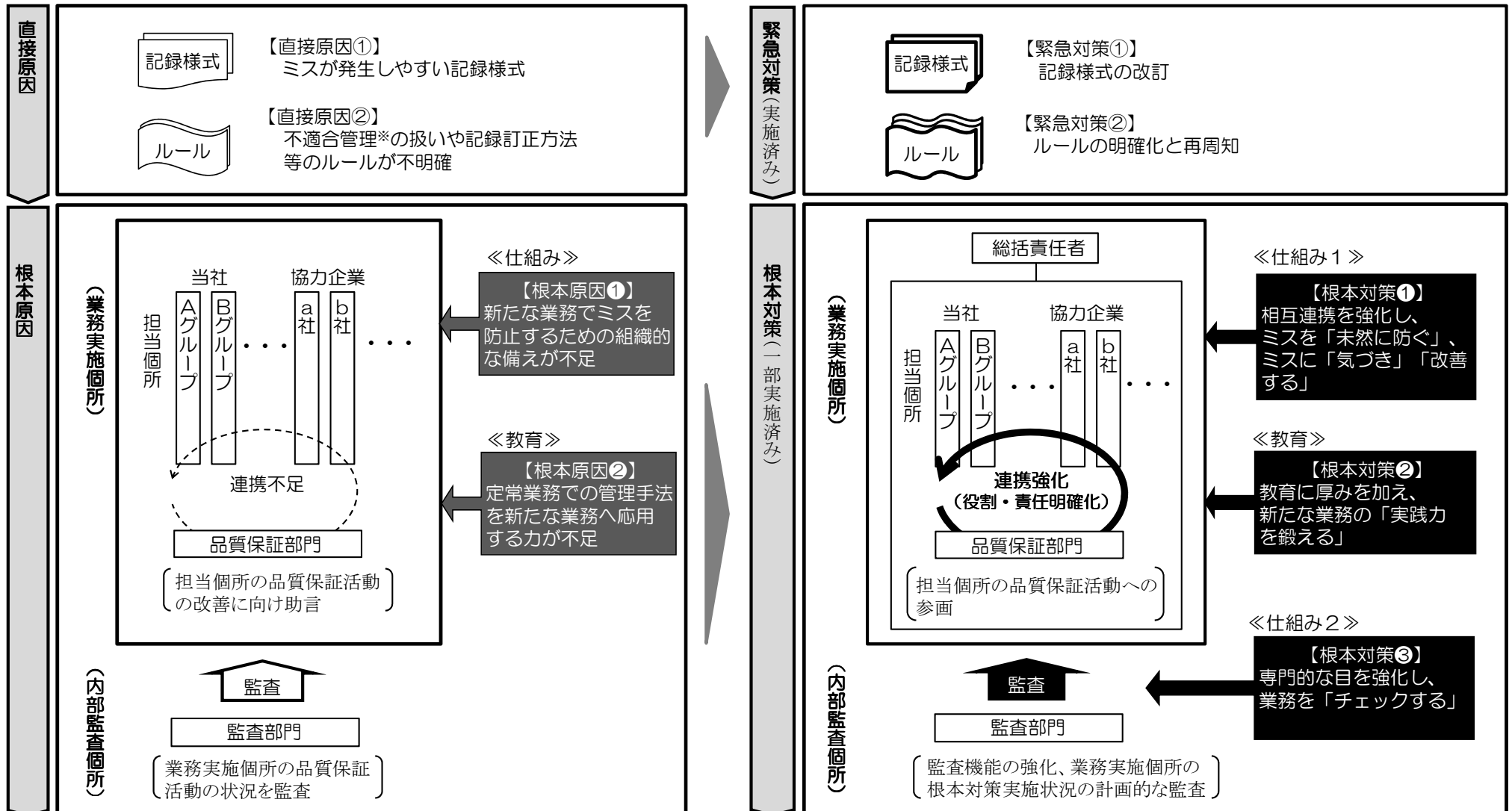
- ・当社・協力企業間で業務の計画から実施までの各段階でコミュニケーション
- ・段階的な試行・検証と速やかな改善

原因

- 当社・協力企業の多くの人に関わっていながら、点検作業を進める中で、問題に自ら気づき、改善することができなかった

対策

- 当社・協力企業の役割・責任を明確化し、相互連携の強化により、問題の発生を未然に防ぐ。問題が起きてからも自ら気づき、改善することができるよう、品質保証活動を強化



※ 「不適合」とは、機器が基準どおりの状態にないことや、業務の進め方がルールどおりになっていないことなどをいう。

「不適合管理」とは、不適合の状態に応じ、機器の調整・補修や業務の誤り訂正等の対応策、さらには、その再発防止対策および類似機器・業務への対策の水平展開の要否を、組織的に検討し、実施状況の管理等を行うことをいう。